

牛

牛について、もっと知ろう！

にゅうようぎゅうへん
乳用牛編

酪農家は優秀な雌子牛をお母さん牛に育てます。生後14ヶ月くらいで人工授精をして、24ヶ月くらいで初めてのお産をして、牛乳の生産をはじめます。



酪農家は毎日どんな仕事をするの？

毎日、朝と晩の搾乳作業と牛へのエサやり、そして牛舎の掃除をするんだ。さらに、牛をよく観察して病気じゃないか、元気はあるかなどもチェックしているよ、他にも、たくさん出てくるウンチをたい肥にする作業をしたり、牛のエサである牧草をつくらたりもしているよ。

また、左の図のように、子牛を産ませることが基本なので、人工授精ができる状態かどうかのチェックが大事な仕事だよ。

飼養している牛の様子をすべて知っていることが酪農家にとって大事なんだね。

牛には、どんな種類がいるの？

牛乳を生産するために改良された牛を乳用牛というよ。ほとんどはホルスタイン種という白黒の牛だけど、その他にジャージー種、ガンジー種などもあるんだ。

一方、牛肉を生産するために改良された牛は肉用牛というよ。ホルスタインの雄や黒毛和牛の種を交配した交雑種は肉用牛になるよ。



乾乳期間

分娩

分娩後40日から60日
で種付を行う。

種付

搾乳期間



私たちは子牛を産んでから乳を出します。分娩後50日くらいにもっとも乳量が多く、その後少しずつ減っていきます。次の出産の60日前からは搾乳をお休みします。これを3~4産くり返します。1頭で年間約8000kgの牛乳を生産します。



どうやって牛乳を搾るの？

パーラーと呼ばれる搾乳室です。ここでは、時間になると牛たちがやってきて、枠に入ります。一度に20頭の牛を搾乳できます。

牛はどんなエサを食べるの？

大きく「粗飼料」と「濃厚飼料」の2つに分けられるんだ。「粗飼料」というのは牧草のような繊維質の多いエサで、人間で言えばごはんみたいなものなんだ。「濃厚飼料」というのは、トウモロコシのような穀物を多く含んだカロリーの高いエサで、人間で言えばおかずのようなものなんだ。最近はTMRといって、混ぜご飯のようにして牛に食べさせる方法が増えているよ。



牛のナゼナニ？

乳牛の繁殖サイクル

やまぐち畜産ふれあい体験交流推進協議会

山口県酪農乳業協会 (社) 山口県畜産振興協会